議員全員協議会

全議員に重要な取り組みについて説明がありました

平良丘陵開発観光交流エリアにおける基本計画等の進捗及び木育体感施設の整備手法等について

基本計画等の進捗状況について

昨年10月20日の議員全員協議会で示された基本計画の変更点および進捗状況について、改めて説明がありました。

土地利用計画の変更

計画地の全体を、次の3つのエリアに分割する。

①観光・交流施設エリア

・高台の15階建てホテルを、低層ホテル及び温浴・サウナ・プールに変更する。

・その他の宿泊機能はエリア内に点在させることで、当初計画の200室程度を確保する。

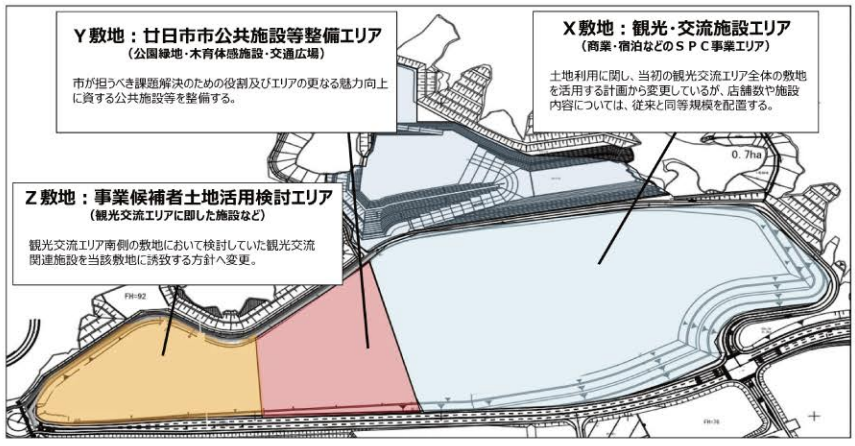
・商業店舗数は当初見込みどおり70～80。

②廿日市市公共施設等整備エリア

・公園緑地、木育体感施設、交通広場の導入は当初計画のまま。

③事業候補者土地活用検討エリア

・工場見学も可能な工場等の誘致を検討する。



その他進捗状況

店舗なども含め配置計画、モデル棟の検討が進行。入居予定の店舗等との交渉も開始する。

木育体感施設の整備手法等について

昨年議員全員協議会で示された公共施設等の整備方針について、具体的な木育体感施設等の整備手法等について説明がありました。

事業手法の検討に係るサウンディング※8意見交換会（8月1日）

公募実施方針案を公表し、5社と意見交換およびヒアリング実施。

対象は、高校生・大学生・子育て世代。参加者数23名。どんな公園・施設であれば利用したいかなど、多くの意見が出ました。



施設配置イメージ図

整備・維持管理・運営の手法等

(1)木育体感施設

〈整備手法〉

市が与える許可により、民間事業者が都市公園に公園施設の整備等を行う（設置管理許可方式）。

〈整備費への支援〉

市が求める必須機能に対してイニシャルコストを支援し、民設民営の施設としての整備を実現するため、補助率2分の1（上限4億円）の補助金を支援する。

〈市産木材の活用〉

森林環境譲与税を活用し、事業者へ市産木材を支給する。

(2)公園・緑地

木育体感施設整備事業者による指定管理。

主なQ&A

Q 高台の高層ホテルが、なぜ低層ホテルに変わったのか。

A 事業候補者とホテルの運営事業者との協議で決定された。宿泊エリアを分散させることで、宿泊施設のグレードが幅広となること、また宿泊利用者による飲食店など商業施設利用の増加にも繋がると考えている。